

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : TOMBO™ No. 1995 クリンシル®ブラウン

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 水・油・燃料シール用ガスケット
使用上の制限 : カタログ、仕様書等に記載の用途や目的以外には使用しないこと。
製品概要 : シートは、耐油性合成ゴム、無機繊維、特殊耐熱合成繊維、無機質充填剤、加硫剤等を混合し、カレンダーロールにて、緻密で均等な厚紙状に加熱圧縮したもの

会社情報

会社名 : ニチアス株式会社
会社住所 : 東京都中央区八丁堀一丁目 6 番 1 号
製品主管部門 : 工業製品事業本部
電話番号 : 03-4413-1131
SDS 作成部門 : 生産本部 全社安全衛生環境部
電話番号 : 03-4413-1173
FAX : 03-3552-6138
緊急連絡先 : 生産本部 全社安全衛生環境部 03-4413-1173

2. 危険有害性の要約

【加工がない場合】

GHS 分類 : 成形品のため GHS 分類の対象外
ラベル要素
絵表示またはシンボル : —
注意喚起語 : —
危険有害性情報 : —
注意書き : —
他の危険有害性 : 通常の取扱いでは有害性はない。

【加工がある場合】

通常の取扱いでは、粉じん等を発生させないので特に有害性はない。切断・加工時、使用済み製品の解体・取外し時などに発生する可能性がある粉じんの GHS 分類は以下のとおりであり、本 SDS の記載は、当該粉じんの取扱いを想定して記載している。

健康に対する有害性 発がん性 区分 1A
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分 1（呼吸器系）

※上記に記載のないものは区分に該当しない（区分外、分類対象外）または分類できない。

ラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険
危険有害性 : 発がんのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器系）



注意書き

安全対策

- ：使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

- ：ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

保管

- ：施錠して保管すること。

廃棄

- ：内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

：混合物

成分	CAS 番号	濃度 (%)	官報公示整理番号	
			化審法番号	安衛法番号
タルク(アスベスト無し)	14807-96-6	20-40	-	-
無機質充填材	-	10-30	-	-
人造鉱物繊維(生体内溶解性)	非開示	10-20	-	-
マイカ(雲母)	12001-26-2	10-20	-	-
アクリロニトリル・ブタジエン共重合物(NBR)	9003-18-3	5-15	(6)-454	既存化学物質
ポリパラフェニレンテレフタラミド(アラミド繊維)	26125-61-1	5-15	(7)-2384	10-1071
非晶質沈降シリカ	112926-00-8	0.1-3	-	-
石英(結晶質シリカ)	14808-60-7	0.1-3	(1)-548	既存化学物質

コメント

- ：CAS 番号の「非開示」もしくは「-」とは、CAS 番号がない、もしくはCAS 番号を非公開としたもの。

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般

- ：ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

吸入した場合

- ：蒸気、ガス、粉じんなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- ：大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。

眼に入った場合

- ：直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。

飲み込んだ場合

- ：誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。嘔吐物は飲み込ませないこと。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは : 対症的に治療すること。
治療

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤
使ってはならない消火剤 : データなし
消火方法 : 周辺で火災が発生した時は、燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
消火時の保護具 : 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置 : 本製品は固体であり、本項目は適用しない。

非緊急対応者

応急処置 : 出勤は、適切な保護装備を身につけた者に限られる。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 本製品は固体であり、本項目は適用しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 : 本製品は固体であり、本項目は適用しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 粉じん発生時は、粉じんが拡散するのを防止するために、屋内の取扱い作業所には、必要に応じ、局所排気装置の対策を講じる。

安全取扱注意事項 : 8 項保護具を参照し適切な保護具を着用する。
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
作業場における製品の放出を避けるため、または最小限にするため、技術的に必要なあらゆる措置をとる。
取り扱う製品数は必要最小限にし、ばく露使用者の人数を最小限に抑える。
部屋の排気および全般的な換気を確保する。
使用箇所の床、壁、その他の表面は定期的に清掃しなければならない。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

接触回避 : データなし

衛生対策 : 粉じんの飛散を防止することができない場合には、防じんマスクを着用する。眼、皮膚等への接触を避けるため、適切な保護具を着用する。取扱い後は、うがい及び手洗いを励行する。作業衣などに付着した場合はよく取り除く。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。
作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。

保管

安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
性能を維持させるため、水濡れに注意し、常温常湿の屋内保管とすること。

安全な容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

成分名	管理濃度(厚生労働省)	許容濃度(産衛学会)		許容濃度 (ACGIH)
		基準値	許容濃度 上限	
土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じん	吸入性粉じん 3.0/(1.19×Q+1) mg/m ³ (Q : 当該粉じんの遊離けい酸(結晶質シリカ)含有率 (%))	－	－	3 mg/m ³ , respirable particles 10 mg/m ³ , inhalable particles
タルク(アスベスト無し)	－	4 mg/m ³ 石綿繊維、結晶質シリカを含まず(総粉塵)、暫定値 1 mg/m ³ 石綿繊維、結晶質シリカを含まず(吸入性粉塵)、暫定値	－	2 mg/m ³ (Containing no asbestos fibers. E – The value is for particulate matter containing no asbestos and < 1 % crystalline silica, R – Respirable particulate matter) 2 mg/m ³ (Containing asbestos fibers. R – Respirable particulate matter) 0.1 fibers/cm ³ (Containing asbestos fibers. F – Respirable fibers)
マイカ(雲母)	－	－	－	0.1 mg/m ³ (R – Respirable particulate matter)
石英(結晶質シリカ)	－	0.03 mg/m ³ (吸入性粉塵)	－	0.025 mg/m ³ (R – Respirable particulate matter)

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

呼吸用保護具：作業環境中の粉じん濃度が上記の基準を超えるおそれのある場合は、防じんマスクを着用する必要がある。
[換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具 : 保護用手袋

眼の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視 : 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	： 固体
外観	： シート状
色	： 薄茶色
臭い	： かすかなゴム臭

pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: 1.80±0.10 g/cm3
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の条件下では安定。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 特になし。
避けるべき条件	: 特になし。
混触危険物質	: データなし。
危険有害な分解生成物	: 特になし。

11. 有害性情報

製品(混合物)としてのデータはない。

名前	健康有害性:GHS 分類
タルク(アスベスト無し)	区分に該当しない
無機質充填材	区分に該当しない
人造鉱物繊維(生体内溶解性)	区分に該当しない
マイカ(雲母)	特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 1 (呼吸器系), H372
アクリロニトリル・ブタジエン共重合物(NBR)	区分に該当しない
ポリパラフェニレンテレフタラミド(アラミド繊維)	区分に該当しない
非晶質沈降シリカ	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2B, H320 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3 (気道刺激性), H335
石英(結晶質シリカ)	生殖細胞変異原性 区分 2, H341 発がん性 区分 1A, H350 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 1 (呼吸器系, 免疫系, 腎臓), H372

12. 環境影響情報

製品(混合物)としてのデータはない。

名前	環境に対する有害性:GHS 分類
タルク(アスベスト無し)	区分に該当しない
無機質充填材	区分に該当しない
人造鉱物繊維(生体内溶解性)	区分に該当しない
マイカ(雲母)	区分に該当しない
アクリロニトリル・ブタジエン共重合物(NBR)	区分に該当しない
ポリパラフェニレンテレフタラミド(アラミド繊維)	区分に該当しない
非晶質沈降シリカ	区分に該当しない
石英(結晶質シリカ)	区分に該当しない

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 本製品を事業活動に伴って廃棄する場合は、産業廃棄物となり、“廃棄物の処理及び清掃に関する法律”に基づき、適切な処理を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告 (UN RTDG)

国連番号 : 非該当
正式品名 : 非該当
容器等級 : 非該当
海洋汚染物質 : 非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法 :
・ 名称等を表示すべき危険物及び有害物
（法第 5 7 条第 1 項、施行令第 1 8 条第 1 号～第 2 号別表第 9）
 人造鉱物繊維
 結晶質シリカ

・ 【改正後 令和 7 年 4 月 1 日以降】 名称等を表示すべき危険物及び有害物
（法第 5 7 条第 1 項、施行令第 1 8 条第 2 号～第 3 号、安衛則第 3 0 条別表第 2）
 人造鉱物繊維
 結晶質シリカ

- 【改正後 令和8年4月1日以降】名称等を表示すべき危険物及び有害物
(法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)
人造鉱物繊維
結晶質シリカ
非晶質シリカ（シリカゲル及び沈降シリカに限る。）
 - 名称等を通知すべき危険物及び有害物
(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9)
人造鉱物繊維（政令番号：314）
結晶質シリカ（政令番号：165の2）
 - 【改正後 令和7年4月1日以降】名称等を通知すべき危険物及び有害物
(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)
人造鉱物繊維
結晶質シリカ
 - 【改正後 令和8年4月1日以降】名称等を通知すべき危険物及び有害物
(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)
人造鉱物繊維
結晶質シリカ
非晶質シリカ（シリカゲル及び沈降シリカに限る。）
 - がん原性物質
(安衛則第577条の2第5項、令和4年12月26日告示第371号、令和4年12月26日基
発1226第4号)
結晶質シリカ（石英）
- 毒物及び劇物取締法：非該当
消防法：非該当
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）：非該当
- その他の情報：本製品は労働安全衛生法 表示対象物を含有するが、「運搬中及び貯蔵中に固体以外の状態にならず、かつ粉状にならない製品」であるため、表示（ラベル）の適用除外となる。

16. その他の情報

- その他の情報：使用済みの本製品を取り換える際に粉じんが発生する可能性があるため、作業時には作業者に有効な保護具、作業衣又は保護衣を着用させるとともに、湿潤化を推奨する。
- 参考文献：ACGIH Chemical Substances Threshold Limit Value
JIS Z 7252 GHSに基づく化学品の分類方法(2019)
JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート(SDS)(2019)
化学物質総合情報提供システム：独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）
産業衛生学雑誌 第66巻第5号：（社）日本産業衛生学会
- 改訂情報：組織変更に伴う部署名変更
最新の原材料情報の反映



組成修正

適用法令の更新(安衛法開示物質の追加)

SDS 改訂による変化点 : 組成修正

- ・無機質充填材 20-40→10-30%
- ・マイカ(雲母)、非晶質沈降シリカを新規開示

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。